

タイトル		植物バイオによるイカリソウ由来プレニルフラボノール配糖体の効率的生産		
分野	キーワード	① イカリソウ	② プレニルフラボノール	
アグリ・バイオ				
研究者氏名: 山本 浩文 (所属: 生命科学部応用生物科学科)		[お問い合わせ先] TEL: 0276-82-9206 メールアドレス: yamamoto-h@toyo.jp		

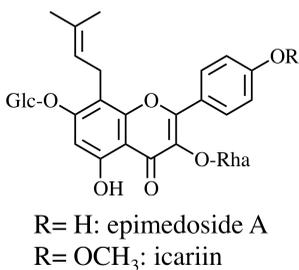
**【概要】**

古来より淫羊藿として強壮・強精に用いられてきたメギ科の多年生草本イカリソウ中の活性本体であるプレニルフラボノール配糖体の効率的生産系の確立を目的として検討を進めています。

**【研究内容】**

イカリインやエピメドサイド A などのメギ科イカリソウ属植物に特徴的であるプレニルフラボノール配糖体は、ケンフェロールの 8 位にプレニル基を持つ、3 位水酸基にラムノースが、また、7 位水酸基にグルコースが結合しています。その生理活性発現には、プレニル基の 8 位への導入が重要ですが、その反応機構やプレニル側鎖の供給、化合物の水溶性に関わる配糖化反応については、その詳細はわかっていません。

これらの問題点を明らかにし、植物バイオを用いてのこれらのプレニルフラボノール配糖体の効率的生産系を確立することを目的として、イカリソウの仲間である梅花イカリソウよりカルスを誘導し、その液内振盪培養系を作成し、検討を行っています。


**【実用化・活用が見込まれる分野・対象業種等】**

有用物質生産、健康食品製造、医薬品製造

**【関連特許】(特許名称・出願番号等)**